

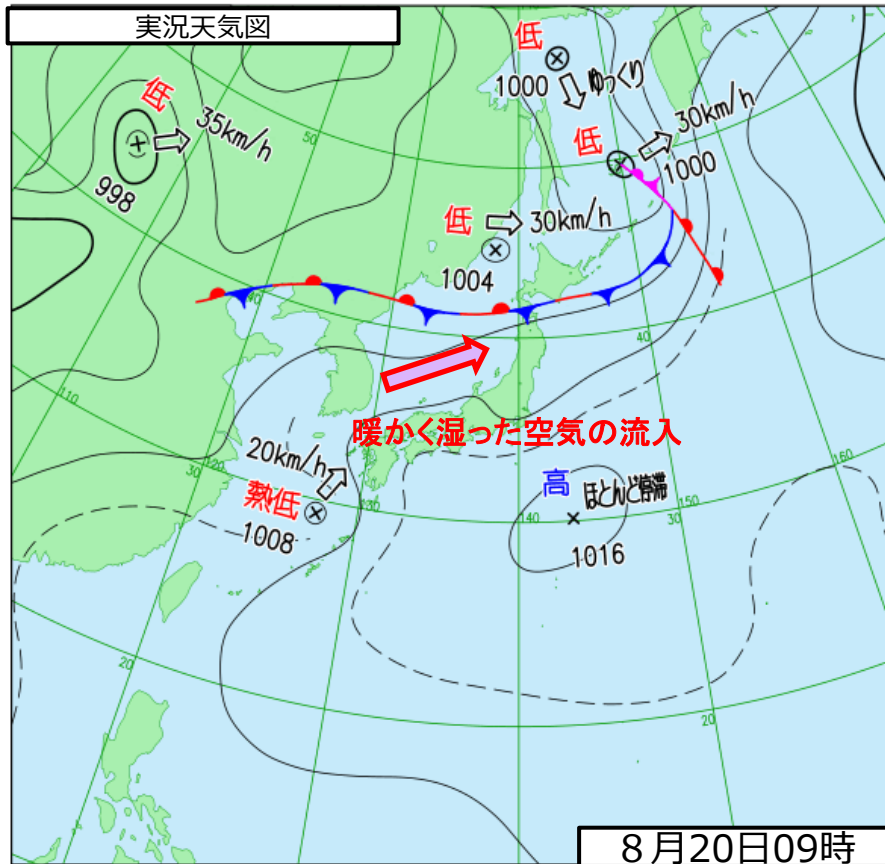
前線による大雨について

土砂災害や低い土地の浸水、
河川の増水や氾濫に
厳重に警戒

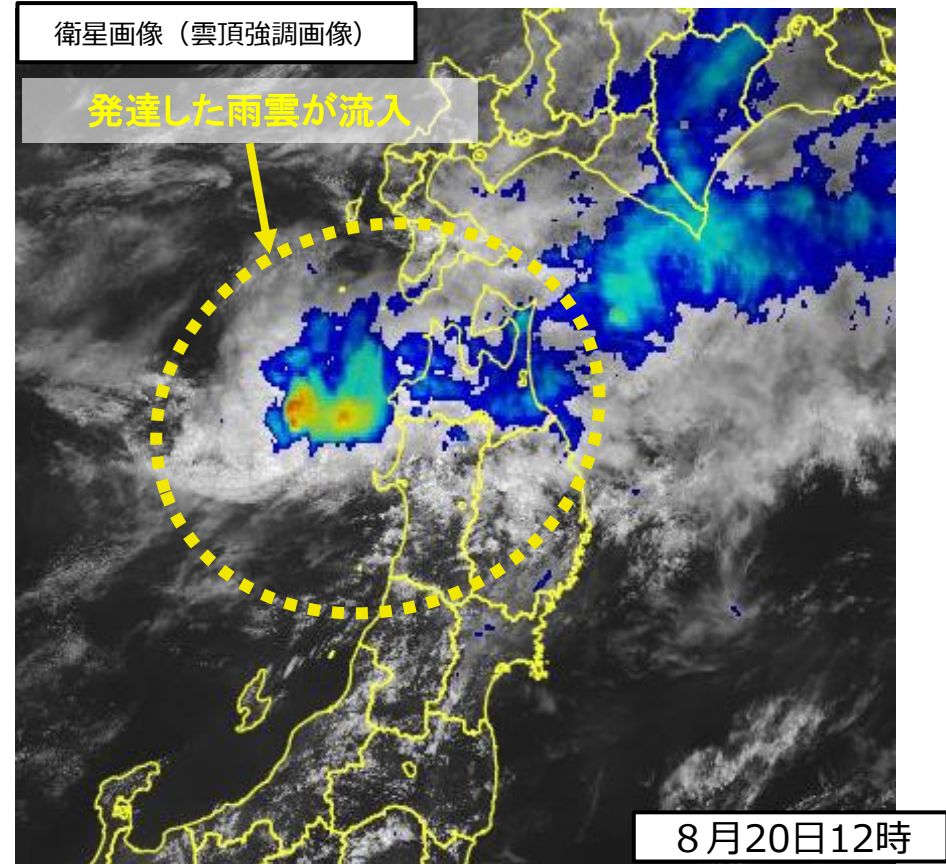
◇夜間にかけてまとまった雨となる見込み

- ・市町村の避難情報に留意・早めの避難。
- ・特別警報が発表されてからでは避難が難しくなる場合がある。
- ・農業施設、用水路等の見回りや不要不急の外出はしない
- ・がけや溪流、増水している河川に近づかない
- ・線状降水帯が発生すると、大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性がある

地上天気図と衛星画像



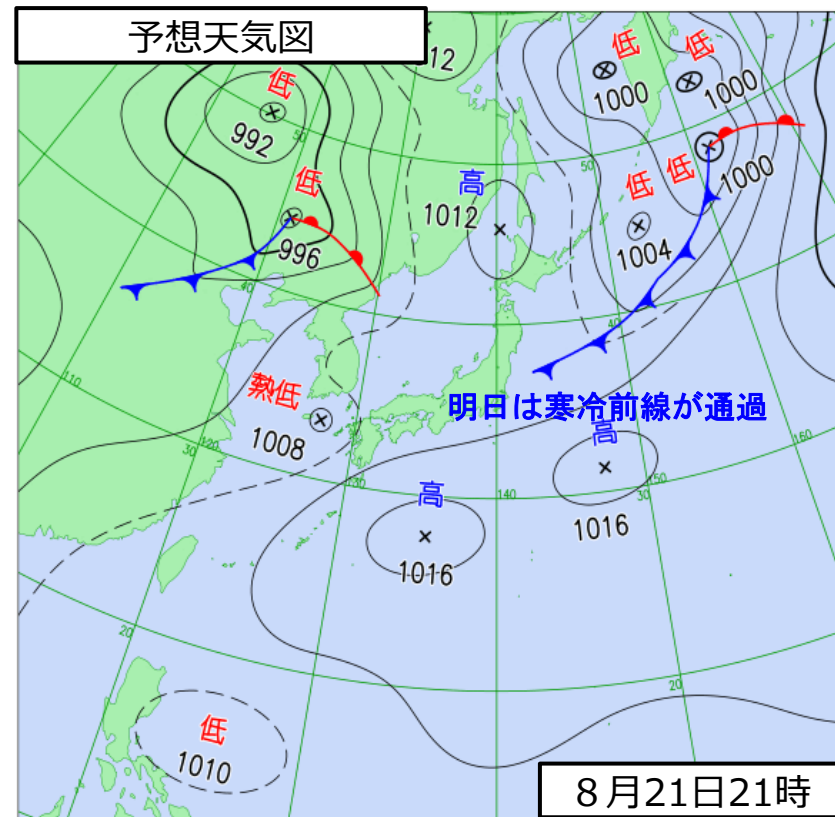
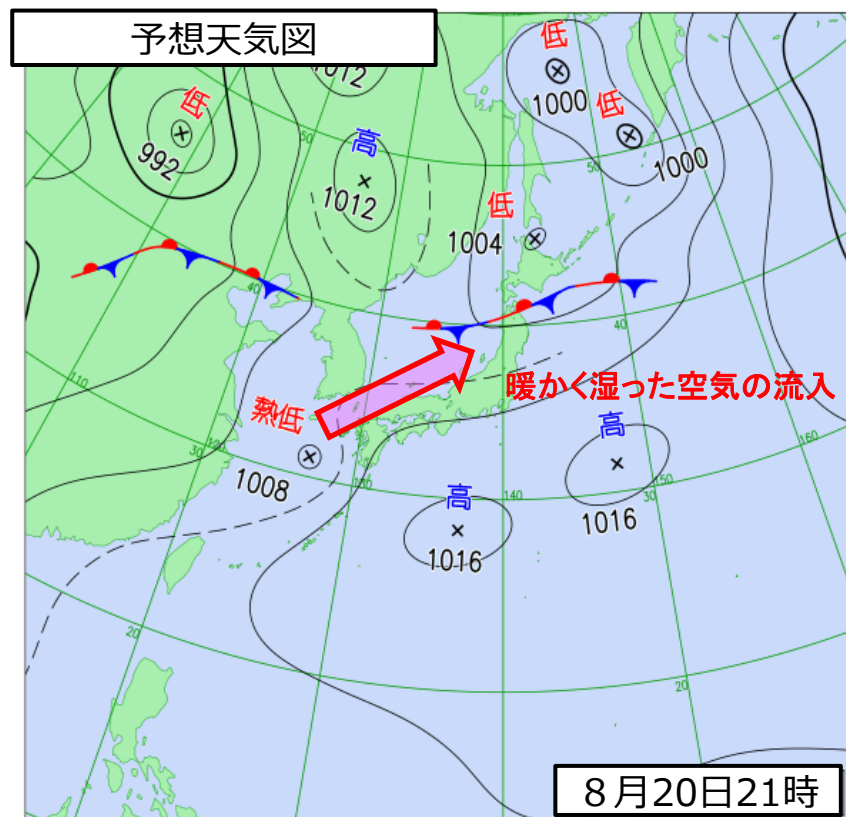
実況天気図 (8月20日09時)



衛星画像 (雲頂強調画像) (8月20日12時)

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

予想天気図

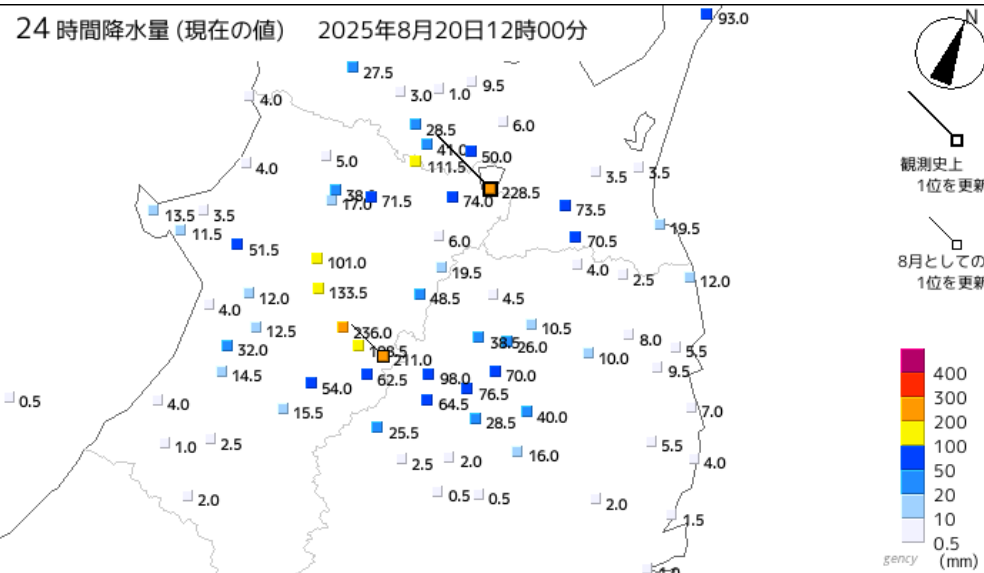


予想天気図 (8月20日21時予想)

予想天気図 (8月21日21時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

秋田県内での降り始めからの降水量



8月19日06時から20日12時までの総降水量(アメダス速報値)

仙北市 桜木内	238.0 ミリ
仙北市 田沢湖高原	211.0 ミリ
仙北市 鎧畑	198.5 ミリ
北秋田市 比立内	136.5 ミリ
大館市 陣場	114.5 ミリ
大館	76.0 ミリ

24時間降水量の日最大値(5mm以上のみ) 11時40分現在

順位	都道府県	市町村	地点	観測値		19日までの 観測史上1位の値		19日までの 8月の1位の値		統計開始年	備考
				mm	時分(まで)	mm	年月日	mm	年月日		
1	秋田県	仙北市	桜木内(ヒノキナイ)	234.5	11:40	287.5	2017/07/23	250.5	2013/08/10	1978年	
2	青森県	十和田市	休屋(ヤスミヤ)	218.5	11:40	191	2006/10/07	183.0	2022/08/13	1982年	(観測史上1位の値を更新)
3	秋田県	仙北市	田沢湖高原(タザワコウゲン)	211.0	11:40	257.0	2017/07/23	202.5	2017/08/25	2014年	(8月の1位の値を更新)

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

警報級となる可能性のある期間

雨が強まってからの避難は危険。早めの対応を

秋田県沿岸		20日（水）		21日（木）			22日	23日	24日	25日
		12-18時	18-24時	00-06時	06-12時	12-24時	（金）	（土）	（日）	（月）
大雨	警報級の可能性	[高]				-	-	-	[中]	-
秋田県内陸		20日		21日			22日	23日	24日	25日
		12-18時	18-24時	00-06時	06-12時	12-24時				
大雨	警報級の可能性	[高]				-	-	-	[中]	-

[中] 可能性がある [高] 可能性が高い

今後の雨の予想

【大雨の見通し】24時間降水量（単位：ミリメートル）

秋田県	21日12時までの 24時間雨量	20日から21日にか けての 1時間雨量
沿岸	150	50
内陸	150	50

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>）

前線による大雨の見通し

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒)

＜ポイント＞ 前線や暖かく湿った空気の影響により、**東北日本海側を中心に21日はじめにかけて、雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。**

＜概況＞ 低気圧がオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が21日にかけて東北地方をゆっくり南下する。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、東北日本海側を中心に、大気の非常に不安定な状態が続く。

＜大雨＞ 東北北部では、昨日からの総降水量が200ミリを超えている地域がある。土砂災害の危険度が高まっている所があるほか、中小河川では既に氾濫が発生している所がある。21日にかけてさらにまとまった降水量となる見込み。

＜警戒事項＞ **東北北部では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。**落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

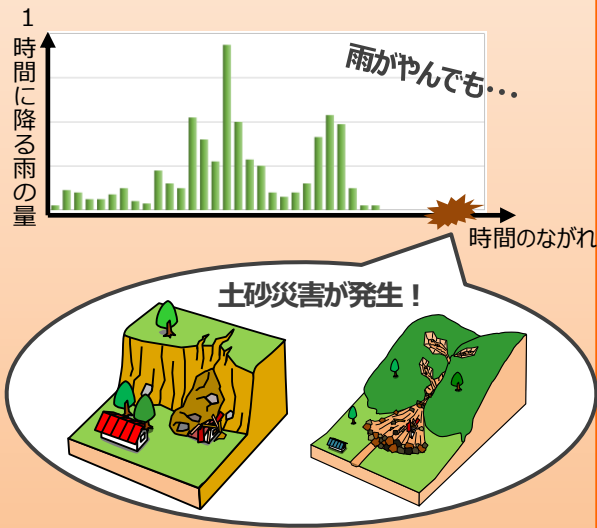


大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

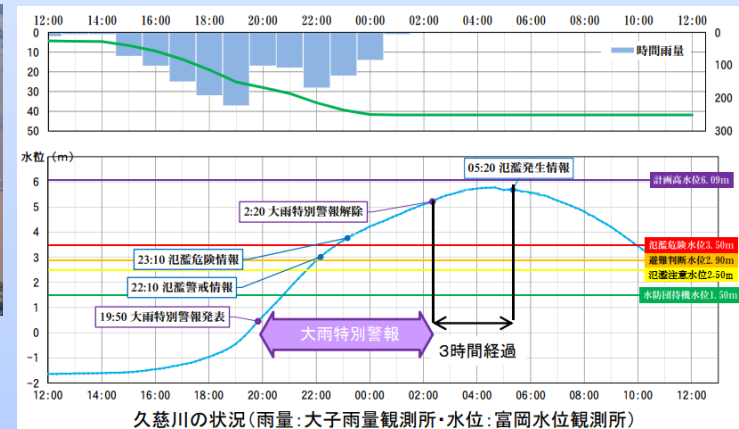
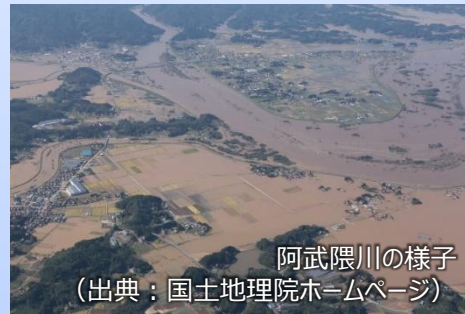
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



気象警報・注意報



キキクル（危険度分布）



指定河川洪水予報



気象情報



雨雲の動き



気象衛星ひまわり



気象庁
防災情報

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁
YouTube

気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



土砂災害警戒情報



台風情報



天気図



降り始めからの総雨量

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf